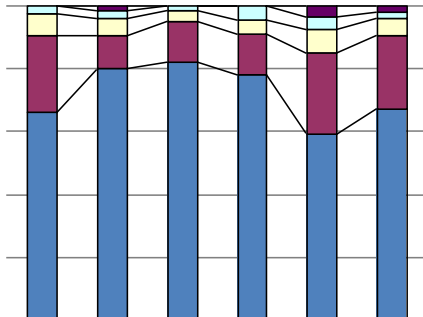


# NST活動報告について

NST活動も、来月でまる2年を迎え、3年目に突入しようとしています。今回は12月号での「上半期活動報告」に続き、昨年10月～今年3月までの下半期半年間における活動を御報告致します。NSTマニュアルや、4月勉強会にて配布した「NST活動についての資料」と合わせてご一読いただくと幸いです。

NST対象理由



	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■主治医の指示	0	1	0	0	3	1
□摂食嚥下障害	2	2	1	3	3	1
□褥瘡有	6	4	3	3	6	3
■絶食1週間以上	21	8	10	9	21	12
■ALB3.0未満	57	60	64	53	48	35

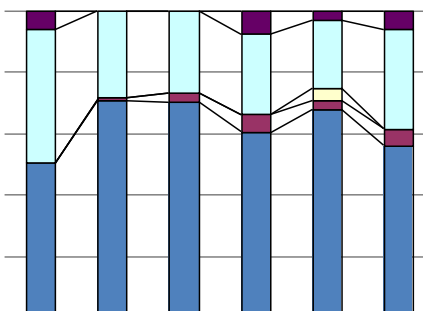
### ◎NST 対象理由

上半期に続いて最も多いのが、栄養アセスメントにおける「栄養状態不良=ALB 値 3.0 未満」の患者様です。ALB 値 3.0 未満は NST 加算の条件にもなっています。

### 当院の NST 活動基準

1. 栄養アセスメントで栄養不良と診断
2. 1週間以上の絶食
3. 摂食嚥下障害のある患者
4. 入院中に栄養不良と診断
5. 褥瘡のある患者
6. 主治医からの指示

対象者の栄養投与法



	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■PPN	5	0	0	5	2	3
□TPN	38	21	21	18	16	17
□経鼻経管栄養	0	0	0	0	3	0
■経胃瘻栄養	0	1	2	4	2	3
■経口栄養	44	53	55	41	49	29

### ◎対象者の栄養投与法

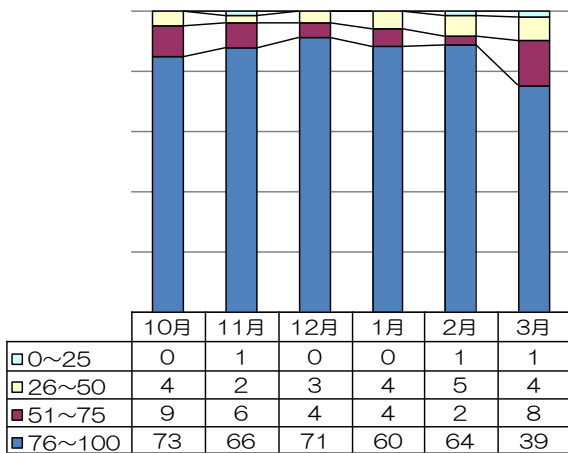
「経口摂取の継続」は NST 活動の主目的でもあります。栄養投与方法としては、当然ながら経口栄養の割合が多いですが、3階医療療養を中心に中心静脈栄養 (TPN) の方も3割いらっしゃいます。

※経口栄養と末梢静脈栄養と併用の場合は、kcal の多い方にてカウントしています。

例) ～経口栄養～ ミキサー食 1200kcal  
 ～静脈栄養 (PPN)～ 10%EL:1本 200kcal

この方の場合は「経口栄養」にてカウントしています。

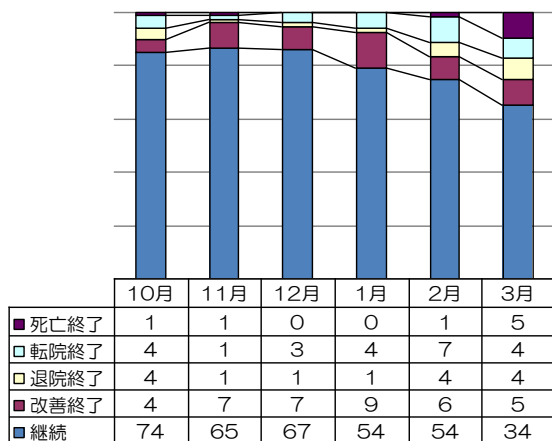
## エネルギー充足率(%)



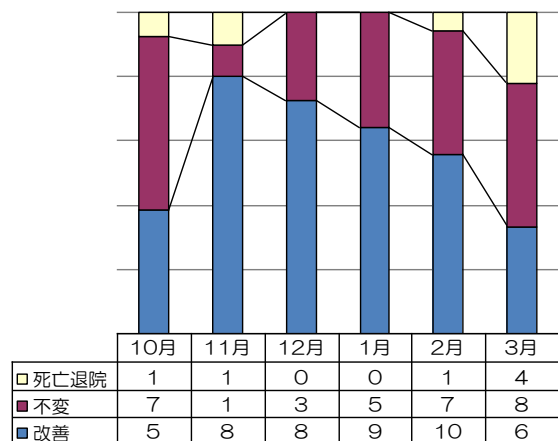
### ◎ エネルギー充足率<摂取栄養量を必要栄養量で除した値>

経口摂取の患者さんで摂取量が低下した場合、栄養補助食品を加えて少しでもエネルギーを増やすことに取り組んでいます。また、末梢静脈栄養（PPN）を含めると、8割の患者様がエネルギー充足率76%を満たしています。

## 転帰



## 終了時の評価項目



### ◎転帰と終了時の評価

NST対象患者様の、約5割（45%）は「改善終了」という結果になっています。術後にALB値が低下しても、食事摂取量に問題なければ約3週間程度で術前の栄養状態に改善している傾向にあります。

しかし、治療経過が良好にもかかわらず、食欲不振になり低栄養状態に陥ってしまう患者様もいらっしゃいます。NSTではこのような患者様へ早く介入していきたいと考えています。

また、入院患者様の3割（27%）が、他院や施設へ転院しています。

「栄養情報の連携」は今後の重要な課題であり、転院先との連携の強化に努めていきたいと考えています。

ほんのちよこっと

## 献立紹介

5月25日昼食献立より  
「金平って・・・？」

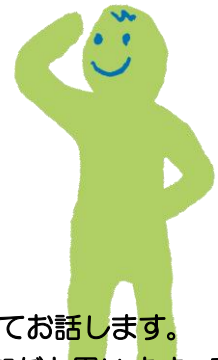


坂田金時(まさかり担いだ金太郎)の息子・坂田金平(きんぴら)に由来します。

金時は実在したという記録がありますが、金平は江戸時代の浄瑠璃の中で作られた架空の人物で、怪力によって化け物を次々と退治する物語で大人気となりました。このことから、【「金平」=強い・丈夫・太い】となり、ゴボウも精が付くということから「金平ごぼう」と呼ばれるようになりました（「固く強い野菜」の料理と言う意味という説も）。



# まめちいきコーナ



## 第7回 検査値解説 「総リンパ球数(TLC)について」

今回は免疫能の指標の一つとして利用されている総リンパ球数(以下 TLC)についてお話しします。

栄養不足の状態では免疫能が低下し、感染のリスクが高くなる事はみなさんご存知だと思います。それは栄養不足が胸腺、リンパ節、扁桃腺、脾臓などの免疫組織の萎縮や末梢血リンパ球数の減少(特にT細胞の減少)による体内の異物を排除する機能(細胞性免疫機能)の低下に影響するからです。それゆえ栄養状態と免疫機能は密接に関係しているといわれています。その事に着目し、当院でも NST 採血セットの項目に TLC を取り入れています。TLC は、白血球数にリンパ球分画を乗じて求められる手軽な指標であり、当院では CBC と血液像のオーダーにより自動で計算されます。

※TLC は栄養状態以外にもストレス、感染症、ステロイドなどの治療薬など、多くの因子に左右されるので注意が必要です。

【当院での基準値】	2000/mm <sup>3</sup> 以上
【減少時の解釈】	801~1200/mm <sup>3</sup> 未満 : 中等度の低栄養、免疫低下の可能性あり
	800/mm <sup>3</sup> 以下 : 高度低栄養、免疫低下の可能性あり

## 毎日新聞掲載記事紹介

大洲記念病院 言語聴覚士

先日、毎日新聞にNSTコアスタッフの一員である富田STによる「言語聴覚士紹介」記事が掲載されました。今回はNSTニュースの為に、内容を簡潔に再執筆してもらいました。

大洲記念病院リハビリテーション部 言語聴覚士の富田です。

(言語聴覚士はコミュニケーションに問題のある患者様や摂食嚥下障害のある患者様へ専門的なリハビリテーションサービスを提供し、助言や指導を行う専門職です。)

NST 発足時よりリハビリテーション部を代表しコアスタッフとして活動させて頂き、現在は言語聴覚士・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士が協力して全ての入院患者様の摂食嚥下機能、口腔内の衛生状態、食事環境、食事姿勢の調整・確認を行い患者様が安全、快適に食事をしていただける環境を提供するために日々試行錯誤しています。

一昨年のNSTの立ち上げは、摂食嚥下機能の低下している患者様を支援していく大きな支えとなっています。

「口から食べる」ということは、ただ栄養を摂取するというだけでなく、生きる上での大きな楽しみの一つであり、食を楽しむことによって精神面でも喜びや満足感を得ることができます。

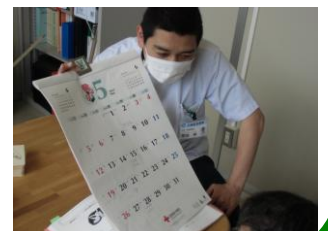
今後とも NST チームの一員として患者様の笑顔の為に頑張っていきたいと思っております。

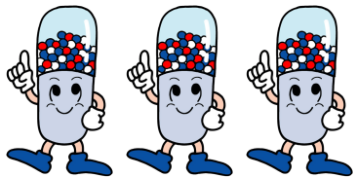
NST 活動の一環として年に1回食事介助や摂食嚥下に関する勉強会を行っています。お時間と興味のある方は是非ご参加下さい。今後も皆様方のご協力をお願いいたします。

### 口腔ケア

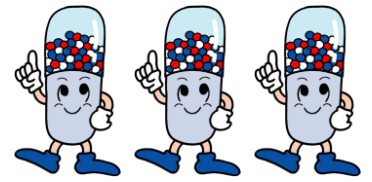


### 言語聴覚療法





# NSTと医薬品

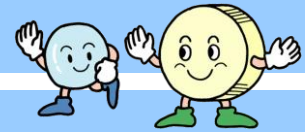


今回は、NST ニュース 4 月号に続き、『食欲増進効果を期待できる医薬品』のうち当院で採用している漢方薬について紹介します。

漢方薬は気力低下や胃腸運動機能をも高める生薬、利尿作用のある生薬(胃腸内水分停滞による胃もたれや胸やけを改善する生薬)を組み合わせ、より効果的に食欲低下を改善します。

【食欲不振の治療で用いることが多い漢方薬】

商品名	対象となる症状
<ul style="list-style-type: none"> <li>六君子湯</li> <li>半夏瀉心湯</li> </ul>	体力がなく、冷え症や倦怠感を伴う場合 ストレスによる食欲不振
<ul style="list-style-type: none"> <li>補中益気湯</li> <li>人参湯</li> </ul>	慢性病による食欲低下 夏やせ
<ul style="list-style-type: none"> <li>五苓散</li> </ul>	肩体力はふつうで、胸やけや吐き気を伴う場合



## ～最近の話題～

六君子湯が食欲増進作用のあるホルモン(グレリン)の産生を高め、またそれにより抗がん剤による吐き気と食欲低下の治療に効果が期待できると報告されています。



## <勉強会案内>

勉強会は、水曜日(15時～)と木曜日(18時～)に2階看護部休憩室にて開催しています。20～30分の内容です。

たくさんの方がご参加頂けるように同じ内容を2回、別の日に行っていますので、ぜひ聴講に来てください。

6/12	(水)	15時00分	～	ネスレ	「排泄について」
6/13	(木)	18時00分	～	〃	〃

